

種名	ホ オ ア カ <u>Emberiza fucata</u>													
														
分類	スズメ目ホオジロ科													
特徴	草原でさえ胸に2本の帯があるホオジロ類。ユーラシア大陸の東部の中国東北部、ウスリーなどからヒマラヤにかけて分布する。日本では北海道から九州までの全国に留鳥として分布し、普通に繁殖する。冬期は暖地に移動する。													
生活	背の低い草原を好む鳥で北海道や東北地方では平地の牧場や農耕地の周辺で、中部地方以南では山地の高原で繁殖している。関東地方では近年、平地の川原などでの繁殖例が増えてきている。繁殖期にはつがいで縄張りを持ち、オスは低木の枝先や岩角などでさえずる。地上をはね歩いて、イネ科植物などの実をついばんでいる。もっとも草丈の低い草原に棲む種類といえる。													
声	繁殖期には「チョッチチロチッ」というような短く平らな調子でさえずる。ホオジロのさえずりに似ているが、少し声が低い。また、ホオジロのように高い梢で鳴くことはごく少ない。地鳴きは「チッ、チッ」と区切る小さな声である。													
見分け方	赤褐色の頬。胸の黒と褐色の2本の横帯。													
時期：寒地	(月)	-	-	-	-	5	6	7	8	9	10	-	-	
：暖地	(月)	1	2	3	4	-	-	-	-	-	-	11	12	
その他	全長(L)16cm 翼開長(W)23cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														